（別紙４（２））

事業所名　シティ･ホーム　神松寺

作成日：平成　２５　年　１０　月　２２　日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域福祉事業の拠点を目指し、行政や地域住民と協働で、介護相談事業や地域行事に、準備段階から参加し協力体制を構築していく。	職員が、積極的に地域の行事や会議に参加し、ホームの知識を活かして協力し、高齢者の悩みや相談事を積極的に聴き取り、行政と協力して、解決に向けた支援を実施し、地域との信頼関係を構築していく。	１２ヶ月
2		グループホームとしての介護のあり方	開設時は、普通の生活が出来て、共同生活の出来る方が利用出来るという内容が、現在は、看取りまでという内容に変わり、同じ職員配置で、同じ質のサービス提供を目指すための対応を検討していく。	外部研修会に職員を交代で派遣し、介護技術の向上と、他事業所と情報法交換をして、職員の意識を高め、利用者一人ひとりについても、過剰なサービス提供にならないように、職員間でサービス内容を検討し、自立支援に向けた取り組みを目指す。	１２ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。